

はじめての ジェンダー ゼミ2026

1講座から参加できます



ニュースやSNS、日常の何気ない会話の中で感じる「モヤモヤ」。
その背景には、ジェンダーの問題が隠れているかもしれません。
このゼミでは身近なテーマをきっかけに、講師への質問や参加者同士
のディスカッションを通して「モヤモヤ」の正体を探ります。

1 翻訳の「だわ」「だぜ」は なぜ使われる？

6月17日(水) 18:30~20:30
古川弘子氏(東北学院大学国際学部 教授)

女/男らしさが強調される映画の吹き替えや児童文学の翻訳を題材に、社会のジェンダーバイアスを映し出す表現について参加者同士で話します。

* 紹介する作品(予定)
・ハリーポッター
・魔女の宅急便
・プラダを着た悪魔 など

2 ジェンダー平等社会は実現した？ ～身近なコトから考える

7月11日(土) 13:30~15:30
豊永敏久氏(宮城県宮城野高等学校 教諭/社会科)

男女平等の視点で社会を見てみると？最近話題の女子トイレの数の問題など身近な事例を取り上げながら、みんなで考えます。

* 取り上げる事例(予定)
・女性専用車両
・女子トイレだけ行列問題
・レディースデイ など

3 「女性マンガ」が描いてきた世界

8月4日(火) 13:30~15:30
横井周子氏(マンガライター/東北芸術工科大学
芸術学部 文芸学科 准教授)

いろいろなマンガを見ながら、女性作家が社会をどのように描いてきたかをジェンダー視点で読み解きます。

* 紹介するマンガ(予定)
・池田理代子「ベルサイユのばら」
・よしながふみ「大奥」
・大白小蟹「みどりちゃん、あのね」 など

申込 各回下記締切までにホームページまたは電話で要申込(抽選)
お好きな回を選んでお申し込みください



①翻訳:5/31(日) ②社会:6/18(木) ③マンガ:7/14(火)

定員 各20名
会場 エル・パーク仙台 創作アトリエ
仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル(仙台三越定禅寺通り館5F)
参加費 各1,000円(高校生以下無料)
* 現金またはPayPayでお支払いください。
託児 6ヶ月以上小1まで
* 託児利用料: お子さん1人1回あたり500円
* しょうがいのあるお子さんや、小2以上のきょうだいがいる場合はご相談ください。

【こちらも開催】

ジェンダー
講座

* 「女性がぶつかるスポーツの壁 ~指導環境・ルッキズム・賞金格差etc.

6月27日(土)13:30 ~ 15:30 講師: 山口理恵子氏(城西大学経営学部 教授、城西大学スポーツ振興センター 所長)

* 特別企画「これからの私たちへ ~フェミニズム運動の歴史に学ぶ」

7月 3日(金)13:00 ~ 14:15 講師: 遠藤恵子氏((公財)せんだい男女共同参画財団 アドバイザリー・フェロー)

申込・問合せ 仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台 管理事業課 事業係
TEL 022-268-8301 FAX 022-268-8316

主催 公益財団法人 せんだい男女共同参画財団